

仙台市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

基本目標と施策の体系（案）

1 基本目標

(1) 「仙台市基本構想」「仙台市基本計画」に掲げる目標

「仙台市基本構想」では、21世紀半ばに向けて仙台がめざす都市像の一つとして「支え合う健やかな共生の都—やすらぎに満ち、心豊かな暮らしを支える安心・健康都市—」を掲げています。この都市像を実現するため、「仙台市基本計画」では、「地域で支え合う心豊かな社会づくり」を重点政策の一つとし、「共に生き、健康で、安全・安心な地域と暮らしの環境整備を推進するとともに、さまざまな課題に対して、互いに連携し、多層的に対応できる仕組みづくりを進め、誰もが地域とのつながりを持ち、心豊かに暮らすことができる社会」をつくることとしています。

(2) 本計画で進める基本目標

「仙台市基本構想」「仙台市基本計画」に掲げる目標を踏まえ、本計画では、平成27年度から平成29年度までを計画期間とする前計画に引き続き、次の基本目標を掲げます。

高齢者が尊厳を保ち、健康で生きがいを感じながら、社会を支え続けるとともに、支援が必要になっても地域で安心して暮らすことができる社会の実現を目指します

少子高齢化の急速な進展と、これに伴う人口減少は、労働力人口、経済活動、国や自治体財政、社会保障制度など、様々な分野に大きな影響を及ぼすことが予想されます。

また、地域により、高齢化の進行度合い、地理的条件、医療や介護等のサービス基盤、地域施設や活動団体の状況などが様々に異なる中で、日常生活における課題やニーズも、地域ごとに多様化、複雑化しています。

このような状況にあって、高齢者が、健康で生きがいを感じながら暮らし、また、日常生活の支援や医療や介護などの支えが必要になったときにも適切なサービスを受けることができるようにするためには、各地域の実情に応じた地域包括ケアシステムを構築、推進していくことが何より重要です。

基本目標の実現に向け、市民、事業者など様々な主体との協働により、それぞれの地域にふさわしい地域包括ケアシステムを構築、推進すべく、各種施策の展開を図っていきます。

2 施策の体系

次の「3つの基本的な方向」のもと「7つの施策項目」を設定し、高齢者保健福祉施策を総合的に推進します。

【方向1】健康で生きがいを感じながら活躍し続けられるために

(施策項目1) 健康と元気でいられる環境づくり

高齢になっても心身ともに健康で生きがいを感じながら生活できるよう、介護予防・健康づくりに積極的に取り組むことのできる環境の整備を進めます。

(施策項目2) 知識・経験や能力を生かして活躍し続けられる機会の充実

高齢者が知識や経験や能力を活かして活躍し続けられるよう、多様化する高齢者の価値観や状況を踏まえ、多彩な学びの機会の提供を行うほか、地域の支え合い活動やボランティア活動などの社会参加活動や生きがいづくりに対する支援、就労機会の確保などを進め、高齢者の活動の機会の充実を図ります。

【方向2】住み慣れた地域で暮らし続けることができるために

(施策項目3) 必要な支援を得ながら自立した生活を続けられる体制づくり

日常生活上の支援が必要になっても安心して暮らし続けることができるよう、多様な生活支援サービスを提供する体制づくりのほか、高齢者の尊厳保持に向けた虐待防止や、成年後見制度などの権利擁護の取り組みを進めます。

さらに、高齢者一人ひとりがその生活状況に応じた暮らしを生涯にわたって続けることができるよう、多様な住まいの確保などの居住環境の整備に取り組みます。

(施策項目4) 地域の資源やつながり、専門職との連携を生かした地域の支え合いへの支援

高齢者が在宅生活を継続することができるよう、地域の住民や活動団体による見守りや支え合いの活動が充実するよう支援を進めます。

加えて、医療や介護などの様々な専門職との連携に取り組むとともに、地域包括ケアシステムを構築するうえで中核としての役割を担う地域包括支援センターによる支援の充実を図ります。

また、見守りをはじめとする地域の支え合い活動の充実に向け、機運醸成や必要な支援を進めます。

(施策項目5) 認知症の人が安心して暮らせるまちづくり

認知症の人本人の意思が尊重され、暮らし続けることができるよう、認知症に対する理解を広め、地域で支え合う体制づくりを進めるとともに、当事者や家族目線での支援の充実を図ります。

【方向3】介護サービス基盤が充実し、それを支える人材が確保されるために

(施策項目6) 介護サービス基盤の整備

高齢者が適切な介護サービスを受けることができるよう、サービスの質の確保を図るとともに、サービス基盤の整備を進めます。とりわけ特別養護老人ホームなどの施設サービスや認知症高齢者グループホームなどの地域密着型サービスについては、地域バランスも踏まえつつ、計画的な整備に努めます。

(施策項目7) 高度化する介護ニーズへ対応できる人材の確保

将来にわたって介護人材が確保され、サービスが安定的に提供されるよう、関係機関や団体などと連携した積極的な人材確保の取り組みや、質の高いサービスを提供できる人材の育成を進めます。

また、介護従事者の負担軽減に向け、ICTの活用支援などの取り組みを進めます。